



## 警告

取り付け時


### 必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。


### コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。


### 配線・取り付け作業中は、 バッテリーの⊖端子を必ずはずす

 バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。


### エアバッグのカバー部分や作動の妨げ になる場所に、絶対に取り付けない

 エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。  
禁止


### 車のパイプ類・タンク・電気配線 などの位置を確認して取り付ける

 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。火災や事故の原因になります。


### 指定に従って設置・配線する

 説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

### はずれたり・落下しないように、 しっかり取り付ける

 ねじがゆるんでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。


### 安全のため、必ずサイドブレーキ コードを接続して使用する

 説明に従って正しく配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因になります。


## 注意

操作時


### 適正な音量で使用する

 車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。


### 機器内部に異物を入れない

 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。  
禁止

### 水のかかる場所、湿気や埃の多い 場所で使用しない


 発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。  
禁止


### 可動部に手・指を入れない

 可動部に手・指を入れると、けがや故障の原因になります。特に乳幼児にはご注意ください。  
禁止

### 電池は正しく使う

破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

 指定の電池以外は使用しない。  
新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。  
充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。  
著しく温度が高くなる場所に電池や電池の入ったリモコンを放置しない。  
(窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光の当たるところ、ヒーターの近くなど)

 ⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。  
使いきった電池は、すぐに交換する。  
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。  
電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ポリ袋に入れる、テープなどを巻く)

### 電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

### 電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。  
もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。  
万一、目に入ったときは、こすらずにすぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

準備・確認

●安全にお使いいただくために